

ja0cab、クリック病の再発

◇ 先日、晩酌が終わってほろ酔いで PC オン。アマゾンを見ていたら、また面白そうな測定器を見てしまいました。それはインピーダンス測定器。134MHz～2.7GHz までとあり、GHz 帯までのは一般市販のメーカー品で 100 万円は下りません。まだジャンクは出ていないし、欲しくて夢にまで見ていたところです。なんと 1 万 8 千円とあるので、半信半疑でまたクリック病の始まりです。早速、寂しい残高のカードでクリック決済。



◇ 2 週間後海外からの船便で到着。早速開封してこのように、手持ちのフィルタ



ーをセットして電源オン。これは 1127MHz までを通してその他の周波数は阻止するローパス FIL というパーツで、その特性がばっちり見えるではありませんか。素晴らしい！！



調子に乗って 2m 帯のバンドパスフィルターをつないでみました。145MHz を中心に 2MHz 範囲以外は 40db 以上（他の周波数は 1 万分の 1 しかと通らない）の性能確認。VSWR も中心で 1.3 と良好。このフィルターも素晴らしいが、この表示結果も全く素晴らしい！

◇ ひとりで両手を挙げて「ばんざーい」・・・隣の部屋から XYL が「おとーさん
どうかしたのー？」とブレイク。もう一言「頭おかしいんじゃないの？」と
アホ呼ばわり。なんでもいいさー、と表示帯域を変えたりして見入ってしまい
ました。なんと既知の性能通りの表示がでているではありませんか。この値段
でこの機能でこの小型は日本には無い無い。中華製に感謝、感謝・・・。

◇ 実は、この機械のうたい文句は「アンテナアナライザー」の V・U 版なのです。
137.5MHZ からなので HF 帯は見られませんが 145、400、1200、2400 帯のアン
テナ特性 VSWR をグラフでばっちり見る事ができるのです。こんな素晴らしいもの
が、こんな値段で、こんなに小さく・・・。まったく感激以外にあり
ません。勿論 HF 帯のものも販売されているのでこれと 2 台あればアマ無線の
1.9MHZ~2.4GHZ バンドまでの広帯域でアンテナやフィルター調整はばっちり
ですネ。



◇ 早速アンテナの VSWR も測ってみました。これは 400、1200 の 2 バンドハンディーホイップ。ディップ点は 2 バンドばっちり、VSWR1.3 で嬉しくなっています。周囲の影響で 10MHZ ほど低い方に同調していますがアースがうまく取れないホイップの宿命でしょう。



今度は、コメット 1200MHZ の 20 エレ八木アンテナを測ってみました。1800 までスイープして、1295MHZ で VSWR は 1.07 と良好です。低いほうに 1 箇所 VSWR が 2 くらいのディップがありますが、周囲の何かに共振しているようです。

よーし！これがあれば今度は 1200、40 エレ自作だ・・・。

◇たばこ二つほどのこんな小さい中身は何かというと・・・

①2700MHZ までのスイープジェネレーター (掃引信号発生器)

・掃引なしの普通の SG としても広帯域の 2.7GHZ まで 10 分のエージングで 500MHZ—数 HZ 単位の誤差。という事は「シャック内の無線機のパイロット信号に使える」これはワンチップ PLL、IC 技術のお陰です。日本のメーカー品だと 50 万円。

②2700MHZ までのリターンロスブリッジ(伝送反射のロスを検知する部分)

- ・メーカー品だと 10 万円
- ・自作でも 2700MHZ までのフラットネス確保は到底無理

③各種コントローラーと液晶表示 (マイクロコンピューター内臓)

- ・操作性が良く、ボタンクリック感もばっちり液晶表示がくっきりと綺麗

④リチウムバッテリー

- ・ PC の USB で充電できるのが大変便利

◇まー、簡単にいうと「スペアナ+トラッキングジェネレーター+リターンロスブリッジ」ですね。それが小さくまとめられている。こんな良いことづくめの測定器は楽しくて、布団に持ち込んで見入っています。(70 歳のジジイは、ほかに抱くものが無いので、これを抱いて寝ている)

まだ色々な測定が出来そうです。取説が付いてきましたが、全部の機能は試せません。何しろ英語と中国語に四苦八苦。あー、フランス語とドイツ語なら読めるんだがなー。

しかし、こんなに次々と欲しいものが出てくると、いよいよ、

「右人差し指」切らなきゃならんかなー。

(まだ左もあるわい！)

